コンプライアンス・ガイドラインのマトリックスの使用方法

Excelスプレッドシートには、ユーザーが関心のある分野 (EDIと自己請求、サプライヤのサービスプロバイダ、完全性と完全性オプションなど) を選択するためのフィルタが用意されています。ガイドラインを理解するには、どのような場合でも、Excelワークシートを上から下に1回以上読むことをお勧めします。また、このマトリックスを確認する前に、解説を参照することをお勧めします。

Excelスプレッドシートフィルタ列A~G

最初の列では、 「フィルタオプション」 を使用して選択検索を行うことができます。主な引数は以下のとおりです。フィルタがないことを確認します。

set (すべてのフィルタをリセットするには、 [データ] → [フィルタ] → [すべて表示] → [削除] を使用します。)

請求処理が適用される列A:S=仕入先、B=購買担当、すべて=仕入先および購買担当

列B番号付きプロセス・ステップ

Col C-E Commentaryに記載されている業務実施方法の業務分類。クラスAはMatrixに含まれていません。

実装クラスBは「制御データ交換」です。;クラスCは「データレベル制御」です。;クラスDは「委託保管」クラスです

サービス・プロバイダが実行するCOL F Intermediated e-Invoicingプロセス(O=オプション/可能、M=必須)

バイヤーが実施したコールG自己請求e請求の発行。プロセスの適用先:S=仕入先、B=購買担当、すべて=仕入先および購買担当

Excelスプレッドシート・プロセスのステップ詳細

列Hなぜ(リスク)この処理ステップに法的要件が存在する根拠となる税金リスクを指します。これにより、

質問「このプロセス・ステップにおける税金の観点からの固有のリスクは何か。」

Col I What (要件)リスクに対応する税金要件を指します。

Col Jどのように(コントロール)コントロール(翻訳訳語)を使用してリスクを回避するか

Col K参照例リストされた例は網羅的ではなく、使用されると想定される手段の種類を例示するためにのみ提供されている。

Col Lその他のガイダンス詳細な技術ガイダンスが提供されているコメンタリーのクロスリファレンスセクション。

Col M導入/自己評価に使用:プロセス・ステップが適切でない場合は、ソリューションのドキュメントに関する簡単な説明と参照

適用可能用途「なし」+理由

ガイドラインの用語と略語

AICPA米国公認会計士協会

カナダ公認会計士協会

-ETSI TS European Telecommunications Standards Institute技術仕様[http://www.etsi.org/website/homepage.aspxと](http://www.etsi.org/website/homepage.aspx)

ITU国際電気通信連合[http://www.itu.int/library/と](http://www.itu.int/library/)

-RFCのコメント要求[http://www.rfc-editor.org/rfc.htmlと](http://www.rfc-editor.org/rfc.html)

-S/MIME Secure/Multipurpose Internet Mail Extensions (S/MIMEセキュア/多目的インターネットメール拡張)

-SSL Secure Sockets Layer (SSL) v 2およびv 3

-TLSトランスポート層セキュリティ